

2015年
5月



卒業式の感謝のしるしとして、先生にも記念品を贈呈しました！（フィリピン孤児院）

皆さまの御支援、いつもありがとうございます。

先日、4月の11日、ファミリーホーム建設に向け、施工業者の入札が郡山市で行なわれました。入札会場は市役所の会議室を使用し入札の結果は、地元の合同会社「良品店」さんに決定いたしました。早ければ、来月からでも建設に取り掛かることができるそうですが、今回、この建設が皆さまの尊い御支援の結果であることを今一度覚え、心から感謝を申し上げるばかりであります。ただ建物以外の様々な備品の必要があり、さらなる皆さんのお力をお願いできればと正直思っているところであります。

また、日本の孤児院だけではなく、カンボジアやザンビア等の孤児院の運営費も円安等の影響を受けて増額をしなければならない状況です。

どうか今後とも、皆さまの御支援・サポートを是非よろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、感謝申し上げます。今年12年生（高校3年）を卒業する子ども達の為に、次の自立への段階に進めるように生活の拠点を別にする為、第二孤児院として、もう1ヶ所の場所の準備を始めています。現在12年生で学んでいる子ども達は、全員孤児院に来るまで学校にも行けなかった状況でした。読み書き



が全く出来なかった1人の男の子は、現在成績も良く特に英語が大好きで、時々通訳もお願いするくらいです。大学に進んでさらに学び、将来に備えたいという希望を持っています。カンボジアの大きな経済発展の中で、社会の変化も著しい昨今、孤児の子ども達が自立への、より具体的な準備を進めて行くことが出来ますように、皆様にご理解を頂くと共に、継続したご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。

第二孤児院に、移動予定の子供たち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の尊いご支援をいつもありがとうございます。

2015年の3月は実り多い月でした。今回、就学支援を受けた34人の子どもたちは全員無事に、2014年～2015年の学年を修了することが出来ました。皆様のご支援を心よりお礼申し上げます。そのうちの6名の子どもたちが無事に高校を卒業することとなりました。今年のスアワンハイスクールの卒業式は、私たち



たちにとっても素晴らしい体験となりました。アイラ・マゼル（写真左から4番目）は優秀な成績を収め、卒業生総代を務めました。来期も28名が就学を続けるための経済的な支援を必要としています。学校登録費、教科書代、上履き、靴、制服、カバンなどのために、子ども一人につき126ドルが必要です。28名分だと3,553ドルになります。どうかさらなる皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

パーティーを楽しむ子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ（お元気ですか）？皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。



ザンビアは4月に入っても、激しい雨の日が続いています。例年ですと雨は終わり、たまにパラパラと降るだけなのですが...そのため井戸の掘削は、(乾季にも十分な水量を確保するために)地下水がある程度下がってから行う予定です。

こども達は一学期が終了し、カセンガ孤児院グループがルサカに来て、ホリデーを共に過ごしています。

静かだな〜と、部屋を覗くと、それぞれベッドの上で勉強していたりと、本当に成長したなあと感慨深いです。

今年高校を卒業するフィデリスとテリースの、大学等進学費用は各自年間50万-60万円程と見積もっています。どうかそのためのご支援も宜しくお願い致します。

身長 170 センチ前後の
男の子の衣類の必要があります！

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。



タケヒロさんご夫妻。

以前グアララパスで児童養護施設の働きに協力して下さっていた方が、大腸からの出血と Dengue 熱で入院されました。しばらく出血が止まらず、生死の境をさまよう状況の中でしたが、奇跡的に回復されて退院されました。お宅に伺ってお話を聞いたところ、「もうだめかと思った。いま生かされているのは何かをするためだと思う。それを考えつつ、生きていきたい」と言われました。さらに、奥様と共に児童養護施設建設の際は協力すると言ってくさっています。里親制度で子供を保護した経験もおありの方々です。とても心強い協力者です。お体の完全なる回復のためにお祈りしております。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>